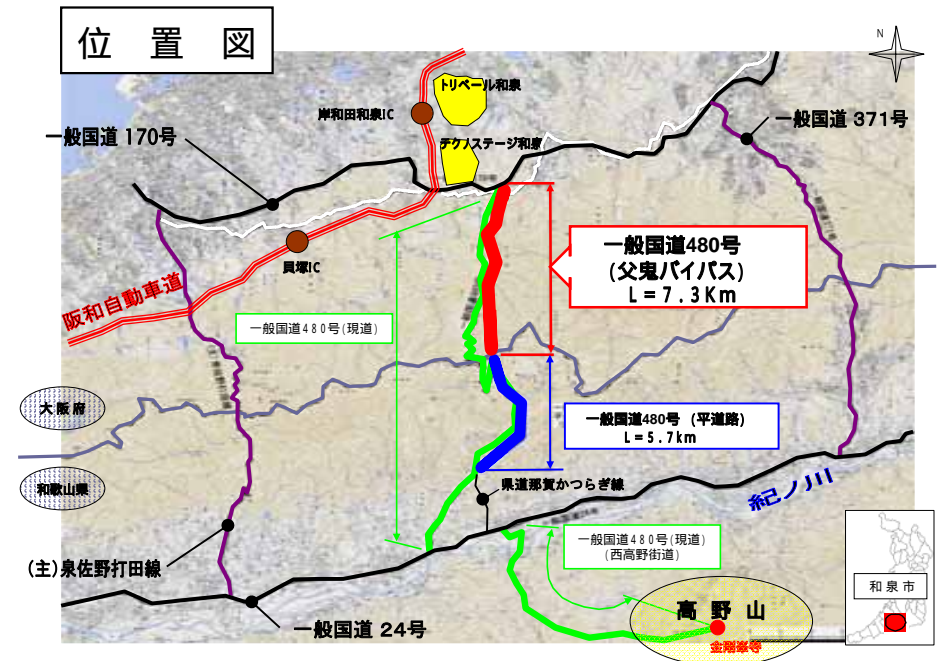


# 一般国道480号 (父鬼バイパス)

建設事業評価委員会  
平成17年9月29日



## 事業概要

第6回大阪府建設事業評価委員会  
H17.9.29  
資料2

大阪府南部と和歌山県紀北地域をバイパス道路として結び、世界遺産である高野山等への観光や、物流の促進を図る地域連携道路である。

バイパス道路として整備することにより、現道における通過交通を排除し、併せて、生活道路として地域住民の交通安全の確保と生活環境の改善を図る。

増加する府県間の交通需要に対応し、より一層のネットワークの強化を図る。

## 現道の状況



・延長

【大阪側】

国道170号～府県界

L = 9.9 km

【和歌山側】

府県界～和歌山県道那賀かつらぎ線 L = 9.8 km

・現道の問題点

幅員が非常に狭小である

(最小幅員 W = 3.0m以下)

勾配が非常に急峻である

(最急勾配 11.8%)

見通しの悪いカーブが連続している

(最小曲線半径 R = 8m)

# 周辺道路の交通量の推移

	平成2年度	平成6年度 (関西空港 開港年度)	平成11年度
一般国道371号	13,283 台/日	16,418 台/日	18,314 台/日
(主) 泉佐野打田線	5,647 台/日	5,989 台/日	10,095 台/日

# 事業内容・経過

事業延長 : L = 7.3 km  
 計画幅員 : W = 10.5 m (道路規格 3種3級)  
 車線数 : 2車線 (3.0m x 2)  
 全体事業費 : 約221億円  
     用地費 : 約30億円  
     工事費 : 約191億円  
 事業採択年度 : 平成8年度 (事業着手 : 同年度)  
 完成予定年度 : 平成25年度

# 整備状況

事業費執行状況 : 用地費 約14億円  
                   工事費 約40億円  
                   計 約54億円

全体事業費執行率 : 約25%

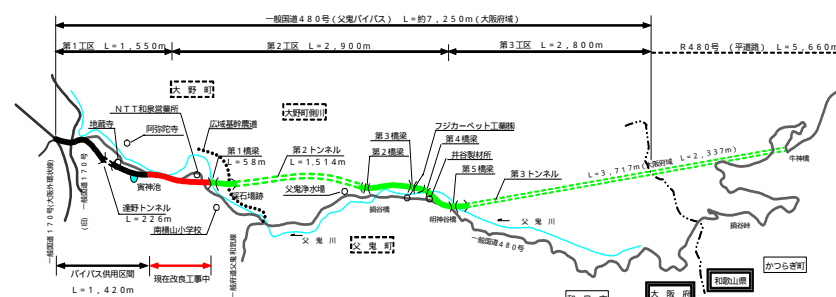
平成14年度に一般国道170号から L = 1.4 km が部分供用済

進捗率 : 用地買収 約47%  
           工事 約21%

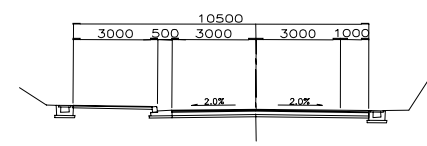
## 【関連事業：和歌山県側 整備状況】

事業延長 : L = 5.7 km (現事業中区間)  
 用地買収率 : 100%  
 工事進捗率 : 51%  
 平成17年度末に L = 3.4 km が部分供用  
 さらに平成19年度に L = 0.9 km が部分供用予定

平面図



標準横断面図(一般部)



## 事業効果の定量的分析 (費用便益分析)

(便益の内容)

- 走行時間短縮便益、走行費用減少便益、  
交通事故減少便益  $B = 505.11$ 億円

(費用の内容)

- 事業費、維持管理費  $C = 212.90$ 億円

費用便益比  $B / C = 2.30$

\* 算出根拠: 費用便益分析マニュアル(国土交通省 平成15年8月)

9

## 今後の予定

一般国道170号(大阪外環状線)から和泉市大野町に至る第1工区(L=1.55 km)のうち L=1.42 kmの供用に引き続き、第1橋梁手前の現道 国道480号までの L=0.53 kmについて、平成18年度部分供用を目指す。

さらに第2トンネル以南についても、平成20年度着工を目指す。

関連事業である和歌山県側の一般国道480号整備事業については、平成16年度和歌山県公共事業再評価委員会においても継続事業として承認済み。

10